

競技注意事項

1. 競技規則について

本大会は、2017年日本陸上競技連盟競技規則ならびに本大会要項及び競技注意事項、申し合わせ事項によって実施する。

各レースで不正スタートは、混成競技を除き、一度の不正スタートでも責任を有する競技者は失格とする。混成競技は、不正スタートを2回目以降に行った競技者が失格となり、その種目の得点は0点となる。スタートの合図については英語で行う。

2. 練習について

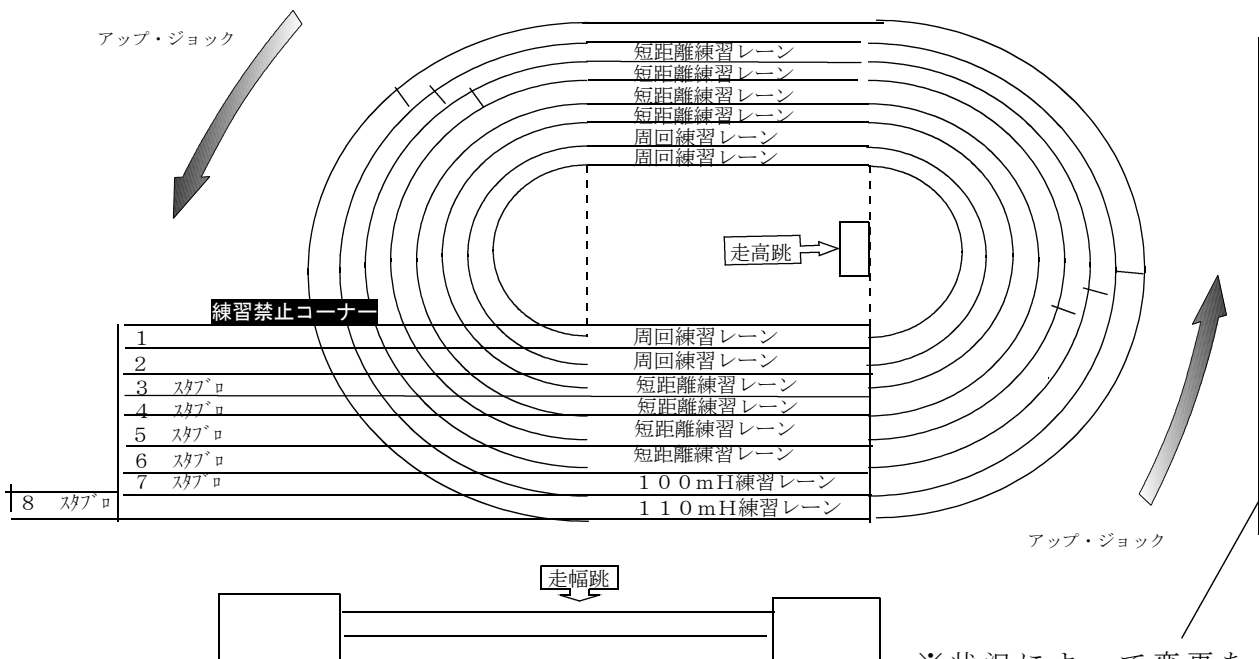
練習は係員の指示により実施する。

- (1) 補助競技場での練習は、トラック競技種目と跳躍競技種目のみとする。
 - ① 1日目の朝は、原則として棒高跳以外は、本トラックでの練習は禁止とする。
 - ② 2日目は、競技開始30分前まで解放するが、出場選手のみとする。
- (2) 投てき競技種目は投てき練習場で決められた練習時間のみ行う（下記）。
 - ① 競技日の練習時間⇒招集完了1時間前～招集完了時刻まで
 - ② 1日目の女子砲丸選手の練習時間⇒13:30～15:00
- (3) 室内走路での練習は棒高跳びの練習以外原則として禁止する。
 但し、雨天時については別途指示する。
 また、走幅跳の競技中における調整練習は認める（競技場側室内走路）。
- (4) 補助競技場における「レーン」の使用区分及び注意事項について
 - ① 周回1・2レーンは中・長距離関係。
 - ② ホームストレート3・4・5・6レーンは短距離関係。
 - ③ ホームストレート7・8レーンはハードル関係。
 - ④ 1・2コーナーからバックストレート、及び3コーナーにかけての3・4・5・6レーンは短距離関係（バトンパスを含む）

<注意事項>

- ア JOG、体操等はレーン外及びフィールド内とする。
- イ レーン内及び芝生でのミニハードル等用具の使用を禁止する。
- ウ 逆走は禁止とし、レーン内の歩行はできるだけさげ、立ち止まらない。
- エ レーンを横断する際は、左右を確認し駆け足を原則とする。
- オ 第4コーナーからホームストレートへの交点付近は特に注意する。
- カ 投てき練習場の芝生部分への立ち入りは禁止とする。（芝養生のため）

補助競技場図



※状況によって変更あり

3. 招集及び入退場について

招集所は第1ゲート外側（100mスタート付近）に設置する。

- (1) 招集時刻は競技開始時刻を基準として下記の通りとする。
 - トラック競技は20分前を招集完了とする。
 - フィールド競技は30分前を招集完了とする。ただし、棒高跳びは45分前に現地集合とする。
 - リレーのオーダー用紙は競技開始1時間前までに招集所に提出する。
 - 混成競技は四種目全て招集所で招集を行う。
- (2) 招集手順
 - ① 招集完了時刻5分前までに招集所に集合し、最終点呼を受ける。係員にナンバーカードとスパイク、衣類及び競技場内への持ち込み物品等の確認を受ける。代理人による最終点呼は認めない。
 - ② 最終点呼後、係員の誘導で競技場内へ入る。
- (3) 招集の注意事項
 - ① 出場すべき競技種目を棄権する場合は、招集完了時刻前までに招集所の競技者係に棄権届けを提出する。
 - ② 招集時刻に遅れた場合、棄権したものとして処理される。
- (4) 入退場は係員の指示に従う。競技が終了した競技者は、バックスタンド側ダグアウトを通り、全て第4ゲートより退場する。

4. ナンバーカードについて

各競技者は、プログラムに記載されたナンバーと同じナンバーカード（20cm×24cm）を、ユニフォームの胸部と背部につける。男子は黒字、女子は赤字とする。

- (1) 跳躍競技に出場する競技者は胸部または背部どちらか片方でもよい。
- (2) 800m以上の中・長距離の競技に出場する競技者は腰ナンバーカードをパンツの右側後方につける。腰ナンバーカードは招集所で配布し、各競技終了後ただちに回収（返却）する。

5. 競技運営について

本大会は下記の主な留意事項に基づいて運営する。

- (1) 競技運営上、競技日程及びピットを変更することがある。
- (2) トラック及びフィールド内にはその競技を行う競技者並びに役員（審判および該当補助員）以外は立ち入ることはできない。フィールド競技はコーチングエリアを設ける。競技者とコーチがコミュニケーションをとる場合のみとするので、エリア内に常駐しないこと。
- (3) 競技者がカセットレコーダー、ラジオ、CD、トランシーバーや携帯電話もしくは類似の機器を競技場内に持ちこんだり使用したりすることはできない。
- (4) トラック競技の着順及び計時は原則として写真判定（1/1000秒）で行う。
- (5) タイムにより次のラウンドの出場者を決める場合、写真判定主任が同記録者の写真を拡大してより細かく優劣を判定して進出者を決める。それでも決められないときは当該競技者の抽選とする。
- (6) セパレートレーンで行うトラック競技では、競技者は安全確保のためフィニッシュライン通過後も自分の割り当てられたレーン（曲走路）を走り、他の競技者の妨害をしない。
- (7) 3000m競技におけるスタートは2グループに分けて行う。
- (8) リレー競技におけるチームの編成は次の通りである。
 - ① リレーチームの編成メンバーは、どのラウンドにおいてもその競技会のリレーまたは他の種目に申し込んでいる競技者であれば出場することができる。
 - ② どのラウンドにおいても出場するメンバーのうち2人はリレーに申し込んだ競技者でなければならない。
 - ③ 最初のラウンドに出場した競技者は、その後のラウンドを通して、2人以内限り他の競技者と交代することができる。
 - ④ 交代とは一度出場した競技者が他の競技者と代わることであり、最初のラウンド

においてリレーに申し込んでいない競技者が出場する場合は交代とはみなさない。

⑤前のラウンドに出場した競技者が一度他の競技者と代わり、再びリレーチームに戻る場合は、新たな交代競技者数には加算しない。

- (9) リレー競技においてはチームの出場者は同一のユニフォームを着用するものとする。
- (10) 4 × 100 m R 競技における第2, 第3, 第4走者は自チームで用意する最大50 mm × 400 mmの粘着テープをマーカーとして1ヶ所使用することができる。尚, 競技終了後, 使用したマーカーは責任をもって取り除くこと。
- (11) フィールド競技における競技場内での練習は審判員の指示により行う。
- (12) 走幅跳び, 棒高跳びに出場する競技者は助走路の外側に主催者の準備したマーカーを2個までおくことができる。
- (13) 棒高跳びに出場する競技者は支柱を自分の希望する位置に移動してもよい。
- (14) 混成競技では1種目でもスタートしなかったか, また, 1回も試技をしなかったときは, それ以降の種目に参加することは許されず, 競技を棄権したものとみなされる。
- (15) 地震・雷雨等の自然災害やJアラート発動の際は, 競技を中断し安全が確認された後に再開する。

6. 走高跳, 棒高跳におけるバーの上げ方について

種目	性別	競技	練習
走高跳	男	1m45 - 50 - 55 - 58 以後3 cmきざみ	1m40
	女	1m30 - 35 - 38 以後3 cmきざみ	1m25
四種競技 走高跳	男	1m35 - 40 - 45 - 48 以後3 cmきざみ	1m30
	女	1m20 - 25 - 28 以後3 cmきざみ	1m15
棒高跳	男	2m40 - 50 - 60 以後10 cmきざみ	2m30 3m00

- (1) 天候その他の関係で変更することがある。
- (2) 第1位を決めるためのバーの上げ下げは, 走高跳で2 cm, 棒高跳で5 cm刻みとする。
- (3) 棒高跳の練習の高さは, 希望により2段階で行う。

7. スパイクシューズの制限

本競技場におけるスパイクピンの数は11本以内とする。また, スパイクピンの長さは9 mm以内とする。ただし, 走高跳については12 mm以内とし先端の直径は4 mm以内でなければならない。

8. 抗議について

- (1) 競技の結果または行為に関する抗議は, その種目の正式発表後30分以内に監督が直接審判長に口頭で申し出なければならない。
- (2) 次のラウンドが行われる競技種目ではその結果が正式に通告されてから15分以内に申し出なければならない。
- (3) 裁定に不服の場合は委託金(1万円)を添え, 総務員を通じて上訴審判員に文書で申し出る。なお, 上訴審判員の裁定が最終決定となる。

9. 得点について

得点は1位8点, 2位7点, ……., 8位1点とする。ただし, 1年男子砲丸投はオープン種目とし, 学校対抗得点には含めない。

10. 表彰について

各種目の8位まで賞状を授与する。決勝終了後直ちに入賞者は表彰者控室に集合すること。表彰はユニフォームを着用すること。

男女総合は閉会式で各校8位まで賞状を授与する。優勝校には優勝杯を授与する。

11. その他

- (1) 救護本部は宮城スタジアム1階医務室に設置する。応急処置は行うが、以後の責任は負わない。
- (2) 応援について
 - ① 集団応援は他の競技に支障のないように行う。特にフィールド競技の進行に配慮する。
 - ② 集団応援はバックスタンド中段より上の集団応援可能エリアのみとする。
- (3) 応援横幕・のぼり旗の設置について
 - ① メインスタンドへの設置は禁止する。
 - ② バックスタンド・サイドスタンドに設置する場合、応援横幕は座席の中段より上に設置する。のぼり旗は通路の手すりのみの設置とする。ただし、身体障害者観客席前や通路をさえぎる状態での設置はしないこと。
 - ③ 応援横幕・のぼり旗の固定はロープ類を使用すること。粘着テープの使用は禁止する。
 - ④ 個人名の応援横幕・のぼり旗等は禁止とする。
- (4) 室内走路及び通路に敷物を利用し、場所を確保して休憩場所として利用することを禁止する。
- (5) 各校の休憩場所として3階コンコースを利用し、シートを固定したり壁に物を貼ったりする時は、粘着力の弱いテープ等で貼り付ける（ガムテープの使用は厳禁とする）。
- (6) ゴミは原則として各校で持ち帰ること。必要な場合は本部にて専用のゴミ袋を販売します。
- (7) 置き引き、盗難等の発生する恐れがあるので各自持ち物や貴重品の管理に十分注意する。
- (8) 本部は競技運営室6とする。不明な点は、大会本部に問い合わせる。
- (9) 平成29～30年度県中体連強化事業について。
今大会終了後、強化指定選手の選考を行います。
 - ◎ 選考基準
 - ・ 今年度の実績
 - ・ 普段の練習環境や取り組みの姿勢
 - ・ 将来性
 - ・ 今大会の結果 など選考された選手については、強化指定を受けるかどうか顧問の先生を通して打診し、決定後正式に通知します。